



自治体の紹介
背景

人口
約377万人



全国最大の
基礎自治体

学術研究開発機
関の事業所数

157



※H28経済センサス

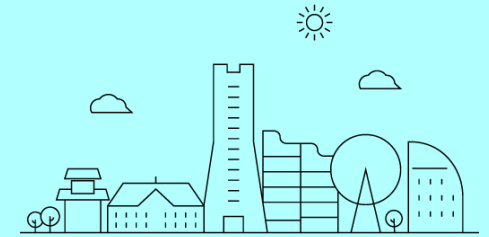
技術者・研究者
約14万人

政令指
定都市
第1位



※H27国勢調査

ものづくり・IT企業
R&D拠点の集積



現状の
課題

- ・人口減少・高齢化社会において、市民生活を支えていくには、経済の活性化が必須。
- ・上記の好条件を生かした経済活性化方策として、イノベーションが次々と生まれる循環をつくり、スタートアップが集積する環境（スタートアップエコシステム）を構築していく。
- ・上記の実現には、イノベーションを起こす人材が不可欠なプレイヤー。小中高生から大学生、社会人を対象に、時代の変化に適應したイノベーション人材の創出・育成が必要。
- ・あわせて企業内のイノベーターとなりうる人材の育成も重要。

イノベーション人材の育成

事業の
目的

事業
内容

5つの取組により持続的に人材育成

①大学等と連携したイノベーション
人材育成プログラム



②小中高生等を対象とする次世代育成プログラム



③イノベーション創出を目的とした未来体験・交流イベント



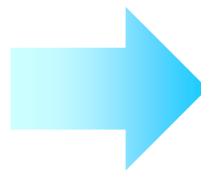
R4
2.5万人
参加

④起業家マインド修得インターンシップ・プログラム

⑤海外コミュニティとの連携

得られる
成果等

- ・イノベーション人材の育成
- ・企業間交流、まちぐるみの実証実験
- ・様々な企業・人によるまちの賑わい創出



自社のイノベーション創出を目指す
企業の皆様にもメリット大!

スタートアップエコシステムの形成

他にも
ご用意

主なメリット

(2.5万人来場実績のイノベーション創出イベントにて)

企業ロゴ(名)掲載

- ・事前案内チラシ※
- ・バックボード
- ・ポスター等

※20万部、
横浜市内小学校等に配布



ご希望の出展スペース
のご提供



展示・イベントの
体験優遇

(昨年度は1~2時間待ちの
出展も)



感謝状の贈呈



贈呈イメージ

寄附を
する
メリット
等